

石川県

石川県退職校長会

設立 昭和41年6月26日

1 現在までの歩み

昭和41年6月、教育振興をめざす県内有志会員281名によって結成された。その後、会員の親睦と福祉に力を入れ、関係諸団体と連携して教育振興や研修活動に取り組んできた。結成当時県内に12の支部があったが、市町村合併に伴い現在は11支部となった。10年ごとの節目に記念誌の発行や記念式典を実施してきた。学校統廃合により退職校長数も減少しており、近年の会員数は1,650名前後である。

2 組織

- ◇ 会員 石川県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の退職校長
- ◇ 理事会 加賀、小松、能美、白山野々市、金沢、河北、羽咋、七尾鹿島、輪島、鳳珠、珠洲の11支部より2名の理事を選出し、理事会を構成
- ◇ 役員等 会長1名、副会長5名、監査2名で実務は事務局長1名、会計1名、研修、広報、記録等を分担する幹事21名により運営

3 特色ある活動など

◇学校教育支援ボランティア事業

平成22年度から事業に取り組み、本年で5年目を迎えた。現在約100名近くの希望者を人材バンクとして登録している。安全指導や環境整備をはじめ、いじめ対応アドバイザー、親学び講座等、教育委員会の事業に積極的に協力している。

◇設立50周年記念事業

平成27年は本県退職校長会設立50周年の節目の年を迎える。本年7月11日、ホテル金沢を会場に記念祝賀会を開催する。また、「記念誌」も刊行する。



◇財政健全化のための方策

平成26年度から会費免除年齢を89歳とした。以後2年ごとに1歳引き上げ、平成34年に93歳を上限にする予定。

◇会報の定期発行

年間2回発行し、会員の動静や各支部の便り等で情報を共有化している。

◇現職校長との懇談会

年に1回、各校種の校長会代表と「教育の現状と課題」について協議している。

◇東海北陸地区協議会

平成26年11月6日～7日に東海北陸地区7県から34名の参加で実施した。学校教育支援の現状と課題などをテーマに各県の取り組み状況を情報交換した。